

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.23-3		調査位置					北緯	36° 44' 48.0000"						
発注機関	栃木県日光土木事務所				調査期間	2007-08-06 ~ 2007-08-07			東経	139° 30' 39.0000"					
調査業者名				主任技師			現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	1196.97 m	角度			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー	落下用具
総掘進長	10.00 m										エンジン			ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験						原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験	掘進月日			
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)	N値								
												0	10	20										
1196.37	0.60	0.60		砂質土 (SF)	暗灰			[0.01]盛土状の砂。 [0.32]礫が混入する。			1.15	1	23	12	2	35	2							
1192.27	4.10	4.70		礫混じり口・Δ (-G)	茶褐			[0.88]径10mm程度の礫が混入。 [1.47]上部は植物根が混入する。 [2.05]GL-2m以深、礫の混入が少なく、点在する程度。 [2.93]GL-3m付近、砂が混入し、色調が若干暗くなる。 [3.82]GL-4m付近、含水量が多くなる。粘性は中程度。			2.15	1	13	9	3	32	3							
1191.42	0.85	5.55		細砂 (FS)	暗灰			[4.78]微細砂的で粒径は不均一。 [5.17]色調が一部で黄褐色を呈する。			3.15	1	8	13	4	31	4							
1190.47	0.95	6.50		風化岩 (WR)	青灰-黄褐		非常に密な	[5.56]安山岩溶岩の風化帯で、割れ目の発達が著しく玉石混じり砂礫状を呈する。 [6.14]割れ目に沿って、若干粘土化して軟質になっている。			4.15	1	17	16	2	33	2							
1186.97	3.50	10.00		中硬岩 (MR)	青灰			[6.61]安山岩溶岩の新鮮部。岩質は堅硬緻密。割れ目の発達はやや少なく棒状コア主体。 [7.6]割れ目は開口で酸化鉄によって褐色に汚染されている。 [8.3]RQD5.5-6m間15%。 6.0-6.6m間0%。6.6-7.0m間13%。7-8m間7%。9-10m間85%。			5.15	1	7	13	2	11	5	31	5					